

Q 2歳の男の子がいます。保育園で友達にかまれることが多く、腕にくっきりと歯形まで付いていることもあり。園は一応報告してくれますが、どのような対応をしてくれているのか気になっています。「もっと気を付けてほしい」などの苦情を言おうか、悩んでいます。

A 子供同士のかみつきは、保育園ならどこでも起こっていて、実は保育士も困っています。「保護者への伝え方は?」「防ぐ方法は?」など、保育研修会でもよく聞かれます。私も経験がありますが、突発的に起こることが多く、そばにいてもなかなか防げません。歯形が付くどころか、血が滲むほどかむ子供もいます。

1〜2歳のクラスで起こることが多く、それ以外のクラスではほとんど起こりません。その時期はまだうまくしゃべれず、自分の意思を言葉で伝えられないため、かみついてしまうようです。

しかし、実は、かむ子供というのはいつも決まっています。「それが子供」と

歯形が付くほどかまれる



原坂一郎の
子育て相談

開き直る園もありますが、かまない子供の方が圧倒的に多いので、その言葉には説得力がないと思っています。

かまれたときは、かまれた子供のケアが大切です。「痛かったねえ」と言っただけ、流水を患部に当てながらさすってやるだけで、ずいぶん痛みも緩和され、痕もつきにくくなります。また、かんだ子供にそのつど先生が注意するのも大切です。何回も注意すると、やがてかまなくなった子供もいました。そこまでやっているかをまず、園に確かめてください。何もしていない場合もありますので。「気を付けてほしい」は、苦情ではなくお願いですから堂々とお願いしたいと思えます。例えばお願いであっても、園は「何かを言うてる人」に弱いところがあるので、お子さんへの気を付け方が必ず変わってきます。

かまれた側の気持ちですが、今回の質問でよくわかりました。保護者に謝るだけではダメだと、今度の研修会で伝えておきます。(こどもコンサルタント)